

第7回サラシア属植物シンポジウムのご案内

サラシア属植物を対象とした学術研究を通して、サラシア属植物の機能およびその有用性、安全性を広く普及させていく事を目的として、2008年以来毎年「サラシア属植物シンポジウム」を開催して参りました。

本年は、サラシア属植物の機能および有用性、食の安全性、規格基準をテーマとして、以下の要領で「第7回サラシア属植物シンポジウム」を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

日 時： 2014年11月5日(水) 13:00～16:50(受付開始12:30)

会 場： 糖業会館 (東京都千代田区有楽町1-9-3)大ホール

主 催： サラシア属植物シンポジウム事務局

後 援： 近畿大学薬学総合研究所、城西大学薬学部、京都薬科大学、サラシアの会、
サラシア属植物普及協会

参加費： 第一部のみ： 無料、ただし事前登録が必要です。

第二部 : お一人様 6,000円(事前登録当日支払、税込)、講演要旨集一冊含む。
学生は無料。

懇親会費: お一人様 5,000円(事前登録当日支払、税込)シンポジウム終了後開催
(講演要旨集は二冊目より有料、一冊につき1,000円(事前予約も可、当日支払、税込))

※ 参加のお申込みは「サラシア属植物協会」HP(<http://www.salacia-association.jp>)TOPページ
「参加申込書」にご記入の上、事務局までFAX お願いします。100名になり次第受付を終了
させていただきます。

プログラム(講演順 敬称略)

13:00 開会の辞

村岡修(近畿大学 薬学部)

第一部 市民講座 (受講無料) (講演 60分・質疑 10分)

13:05 ●「大地からの贈り物”サラシア”に魅せられて」

○吉川雅之 京都薬科大学 名誉教授

14:15～14:30 一休 憩(15分)―

第二部 一般講演 (受講有料) (講演 15分・質疑 5分)

14:30 ■インスリン分泌促進ホルモン(GLP-1)分解酵素 Dipeptidyl Peptidase-4 (DPP-4)阻害に基づく
サラシアの血糖値改善作用

○二宮 清文、近畿大学 薬学総合研究所

14:50 ■サラシア属植物の美肌作用に関する基礎研究

○芳野恭士、沼津工業高等専門学校、金高隆、株式会社盛光、古賀邦正、東海大学開発工学部

15:10 ■「サラシアより新たに発見された血管異常収縮の特効薬成分」

―血管病による突然死の予防を目指して―

○(小林誠、山口大学大学院医学系研究科)

15:30～15:45 一休 憩(15分)―

15:45 ■サラシア属植物エキス末の食後血糖上昇抑制効果の特徴

○小林正和、小林製薬(株)中央研究所

16:05 ■二重盲検法を用いたヒトに対するサラシア属植物エキスの免疫亢進作用評価

○小田 由里子、植田 文教、富士フィルム(株)

16:25 ●サラシア属植物普及協会からの挨拶、連絡、規格基準化に向けた取り組み(20分)

16:45 閉会の辞

和田政裕(城西大学 薬学部)

17:00～ 懇親会

第7回サラシア属植物シンポジウム参加申込書

2014年11月5日(水)開催の「サラシア属植物シンポジウム」に参加します。

いずれかに○をつけて下さい。



<input type="checkbox"/>	第一部(無料)のみ参加
<input type="checkbox"/>	第一部・第二部(有料)に参加

お名前: _____ 参加人数(申込者含む): _____ 名

法人名・所属名: _____

ご住所: _____

電話: _____ (_____) _____

※申込者以外の参加される方全員のお名前をお願いいたします

お名前: _____

- 参加費は当日受付にてお支払ください。
- 懇親会への参加の有無を○で囲んでください。(参加する _____ 人、参加しない)
- 講演要旨集を追加で _____ 冊申し込みます。

お問合せ先: 第7回サラシア属植物シンポジウム事務局(受付時間: 9:00~17:30)
富士フィルム株式会社 ライフサイエンス事業部 内(事務局 浅野)
〒106-8620 東京都港区西麻布 2-26-30 電話: 03-6418-2038
FAX: 03-6418-2661 (できるだけFAXでいただけると有難いです)

会場略図

会 場 : 公益社団法人 糖業会館 大ホール 東京都千代田区有楽町1-9-3
アクセス: JR山手線 有楽町駅 日比谷口 または 東京メトロ 日比谷駅 B1 出口

